

ウクライナ避難民支援連携フォーラム

ー 長期化する避難生活と自立への課題 ー

侵攻開始から4年が経過し、慣れない異国の地での避難生活が長期化する一方、ウクライナを取り巻く情勢は依然として不透明な状況が続いています。そうした中でも避難民は、就労や日本語等様々な課題と向き合いながら、日本での自立に向けた歩みを一步一步進めています。今何が必要か、一緒に考えてみませんか。

日時

2026年3月18日（水曜日）14:00～16:25

形式

オンライン（Zoomミーティング形式）

対象

区市町村職員、国際交流協会職員、社会福祉協議会職員、避難民支援・外国人支援や地域福祉に関わる団体職員、避難民など、関心のある方どなたでも

プログラム

第1部 ウクライナ避難民支援の現状と課題

◇ ポートヌイク・トーキョー活動報告

避難民の現状や、各主体の支援の状況、支援の中で見えてきた課題等について報告します。

◇ 出入国在留管理庁からの情報提供

出入国在留管理庁より、日本の避難民受入の現状や支援の考え方、課題等についてご説明いただきます。

第2部 事例報告・意見交換

◇ 避難民在住自治体からの支援の実例報告【杉並区】

杉並区及びNPO法人日本ウクライナ友好協会KRAIANYより、他自治体や企業等と連携した避難民の短期インターンシップの取組についてご報告いただきます。

◇ 日本YMCA同盟からの避難民の調査結果報告・事例紹介

日本YMCA同盟による避難民への調査結果や動画による避難民の声をもとに、様々な困難に直面しながらも、これからの生活を模索している避難民の実情と課題について報告します。

◇ グループワーク

テーマ：各主体の課題や悩みの共有／今後の支援に関する意見や情報交換

申込
方法

3月16日（月曜日）までに以下URLからお申込みください。

URL：<https://forms.office.com/r/GUr7z9V6bF>

※会議参加URLは、当日正午までにお申し込みいただいたメールアドレスへお送りします。
※聴講のみの参加も可能です。 ※当日メディア等の取材が入る可能性があります。



ポートヌイク・トーキョーの詳細、過去のフォーラム資料等はこちら

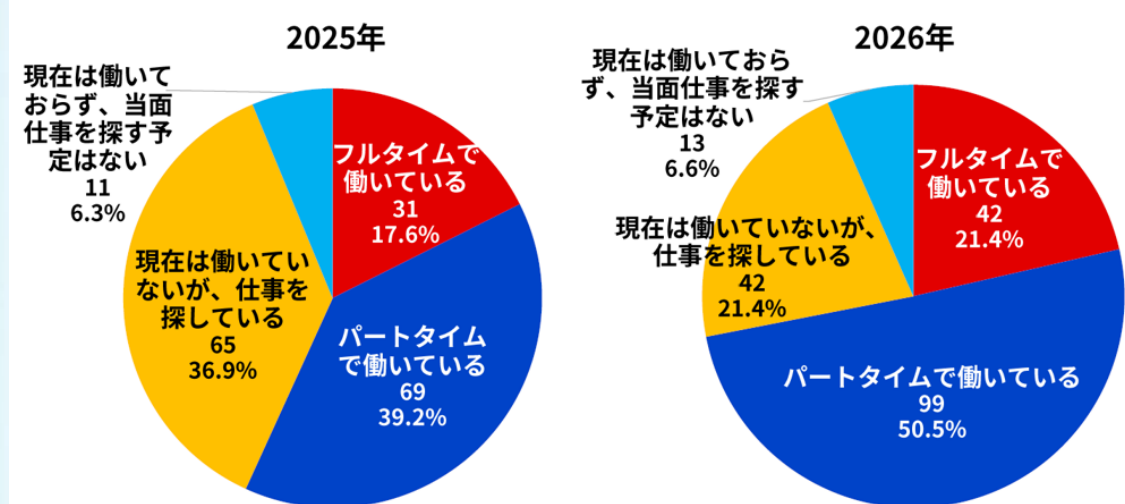
【問合せ】東京都生活文化局都民生活部地域活動推進課多文化共生推進担当

E-mail: S1161202@section.metro.tokyo.jp TEL: 03-5320-7738

ウクライナ避難民の現状

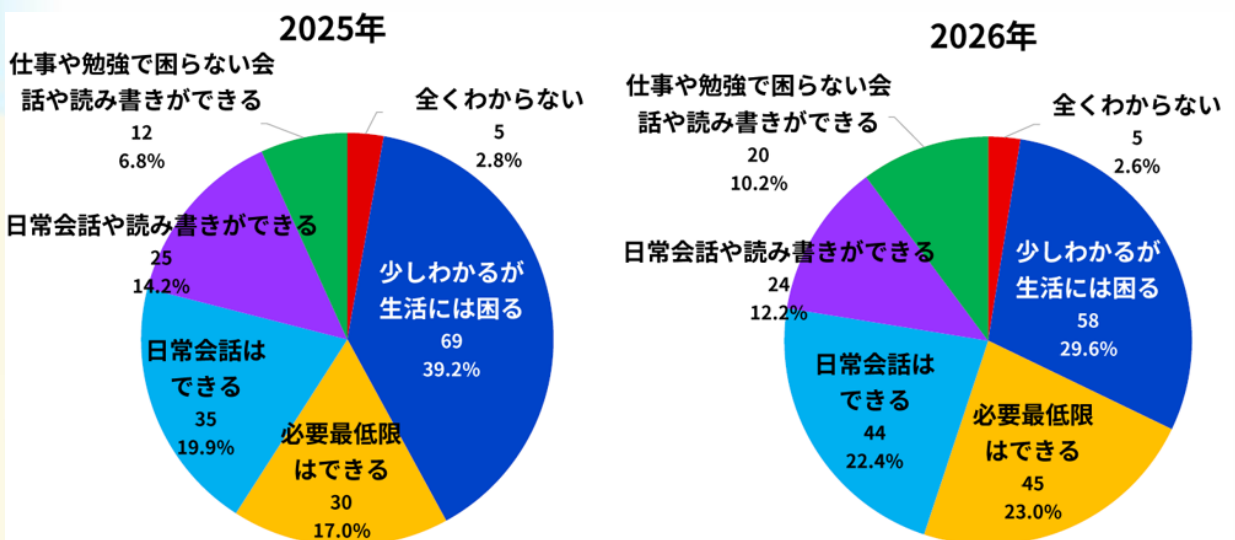
～(公財)日本YMCA同盟による避難民アンケート結果より抜粋～

Q 現在の就労状況を教えてください



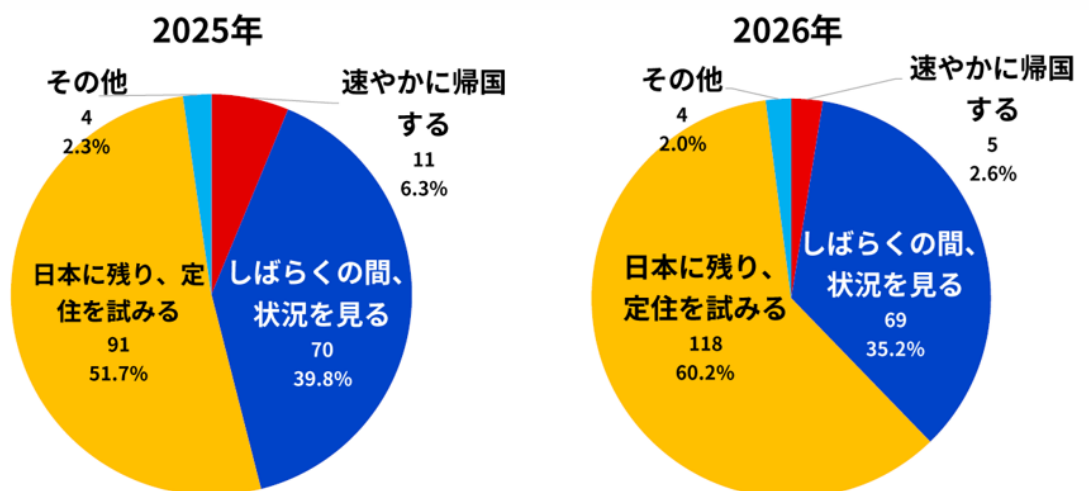
○ 改善傾向であるものの、パートタイムが主

Q 日本語レベルを教えてください



○ 全体的に底上げされているが、仕事や勉強で困らないレベルの方は1割程度

Q 戦争が終了(停戦・休戦)した場合、どのような選択を希望しますか



○ 終戦・停戦後も日本に残ることを希望している方が多くを占める